

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報情報課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

11月1日号への掲載の申込みは、
9月25日(金)までに、広報情報課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

「みしまのお寺めぐりの会」 第200回記念特別講演会

🕒10月3日(出)午後1時30分～4時30分
📍三島商工会議所1階 TMO ホール
伊豆の仏像の歴史～三島の仏像も含めて～
👤田島整さん(上原美術館主任学芸員)
🎫入場無料 定員60人
📍みしまのお寺めぐりの会 ☎090・8132・8394、✉mishimano.tera@poppy.ocn.ne.jp

フォーラム 日本の理想郷・古代の伊豆三島を探訪する

🕒10月10日(出)午後6時30分～9時
📍生涯学習センター 講義室
👤京都市や奈良に

先行する古代都市の三島の魅力を広い視野から探ります。
🎫500円(資料代含む)
※高校生以下無料 定員75人
※当日先着順
🎫不要
📍三島の古代史は日本一おもしろい会・芦田 ☎955・8300

杖道は健康長寿の要因となる！

杖道は杖と木刀による形稽古を行う古武道です。左右対称の技が多く、身体的にも優れ、性別、年齢に応じてけいこ量を調整できる生涯武道。杖道をとおして健康長寿を目指しませんか。興味を持たれた人はご連絡ください。
🎫小・中学生：月300円、高校生：月500円、大人：月1,000円
📍山形 ☎972・5670

ひとり親家庭のための個別相談会 養育費・就業支援セミナー

🕒10月18日(日)①個別相談会：午前9時30分～午後4時
②養育費セミナー：午

前10時～正午
③就業支援セミナー：午後1時30分～3時30分
📍沼津労政会館 第2・3会議室(沼津市高島本町1・3)
🎫無料
※無料の託児あり、要予約
①先着10人
②先着15人
📍・📍ひとり親サポートセンター ☎054・254・1191

水虫に関する体験学習会

🕒9月13日(日)午前10時から
📍生涯学習センター
🎫無料
📍水虫にかかって困っている人
📍・📍NPO 法人自然と共生を考える会・浅井 ☎090・1237・0011

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

PMT

三島市公式 Facebook ページ
FB 三島市



7月16日(水)

静岡県トヨタ自動車販売店など9社との協定締結式 《市長応接室》

三島市では、人口減少・少子高齢化・東京一極集中の是正といった問題に対し、住むなら三島・総合戦略を策定し、各種施策を実施しています。各施策をさらに加速させるため、静岡トヨタ自動車株式会社など9社と地方創生に関する包括連携協定を締結しました。

市公式 Facebook ページでお届けしている記事から、話題のものを掲載しています。



フォトマイタウン PhotoMyTown



7月8日(水)

J A三島函南から「三島馬鈴薯」無償提供 《向山小学校》

向山小学校にJ A三島函南職員が訪れ、三島馬鈴薯の贈呈式が行われました。子どもたちに農業や自然環境、金融経済に対する理解を深めてもらうことを目的に、「J A 共済地域農業活性化促進助成事業」の一環として行われています。

歴史の小箱

No.388

箱根山西麓

江戸時代の猪・鹿対策

箱根山西麓では、古くから猪・鹿などの野生動物による農作物被害に頭を悩ませてきました。谷田村で作成された江戸時代の古文書には、猪・鹿が多く出没して作物を荒らすため、鉄砲・猪土手を使った対策を講じていることが記されています。

古文書によると、谷田村では一八世紀半ばの段階で鉄砲を三挺所持していました。「猪鹿おどし鉄砲」と表現され、追い払う（威す）ことを目的とし、弾は込めずに音を鳴らす形で使用されています。鉄砲は十七世紀以降山村などで広く普及し、鳥獣の被害がある土地では許可を得てこれを所持していました。

また古文書には、長さ二千間余（約三・六km）の「土手」を築いていたことも記されています。これは「猪土手」「猪久根」などと呼ばれるもので、害獣の侵入を防ぐために耕地周辺に築かれました。

竹倉村で作成された古文書にも同様の記載が確認でき、同村には長さ千五百間（約二・七km）の「猪鹿除の土手」が築かれていたようです。

また鉄砲・猪土手以外にも、江戸時代には「猪穴」と呼ばれる対策がありました。これはエサを求めて耕作地を目指す害獣を捕獲するため、ケモノ道や猪土手沿いに掘られた落とし穴のことで、「猪落とし」とも呼ばれます。なお日本では、古くから肉食を避ける、または禁止することが行われてきました。しかし禁制が出ていたからといって肉をまったく食べなかったわけではなく、猪穴などで捕獲されたものは食用に回されただろうと考えられます。

下の写真は、谷田の源平山遺跡で発掘調査により見つかった猪土手と猪穴です。土手は尾根の稜線上にT字形に築かれており、高さは一・一〜一・七m、総延長は一四〇mほどあります。土手の北側には土を盛るために掘られたであろう深さ五〜一〇cmほどの溝と、一八〜二九m間隔で設置された穴三基が検出されました。穴は径・深さともに三メートルほどあります。この遺構の正確な築造年

代はわかっていませんが、谷田村の古文書に記された「土手」に対応するものである可能性が高く、江戸時代に築かれたものと推測されています。

現在も箱根山西麓には猪・鹿などの野生動物が多く生息しており、その被害は今なお少なくありません。これら野生動物による被害を防ぐとともに彼らとの共生を図るため、鳥獣保護管理法に基づき、捕獲許可を受けた期間・地区において銃器や罠を用いた捕獲が行われています。



▲源平山遺跡の猪土手と猪穴

わたしの
おじいちゃんおばあちゃん

当番 のだ はるか さん

私の祖父と祖母は両方とも先生でした。祖父は高校の数学の先生だったので、私の身のまわりの先生にも祖父の教え子がたくさんいます。今は畑を借りて野菜を育てています。なので、家にはおいしい野菜がたくさんあります。その中でも、私はしやがいもが大好きです。

私の祖母は書道の先生でした。今でも、とても字がきれいです。私は字を書く時、祖母のまねをして、きれいに書こうと努力しています。

祖父祖母には、いつまでも元気でいてほしいです。



野田洋司(78才) 京子(72才)
野田 遙(東小6年)